

令和7年度 第1回学校運営協議会記録

1. 日 時 令和7年7月9日(水) 15:00～16:30
2. 場 所 本校会議室
3. 出 席 者 学校協議会委員(出席6名)
・牧野 浩二 ・戸堂 耕造 ・細越 浩嗣
・中谷 正彦 ・澤田 勲男 ・寺村 幸代
学校長
・若林 武志
事務局
・上東 宣宏 ・山口 千恵 ・刑部 元久 ・安里 佳世子
・藤本 将行 ・澤 真規 ・北埜 真也 ・杉本 博康
・塩田 由佳 ・黒瀬 貴人 ・剛 瑛雅
4. 議 題 ①審議事項
・令和6年度学校評価 及び 令和7年度学校経営計画について

②報告・協議
(1) 生徒在籍数、追認指導、教科書採択について
(2) 進路状況について
(3) 生徒状況について
(4) 学校行事・部活動・生徒活動について
(5) PTA 活動について
(6) 広報活動について
(7) 「総合的な探究の時間」等の取り組みについて
(8) 令和10年度入学者選抜に係る「学校特色枠」「スクールポリシー」について
5. 議 決 事 項 上記の審議事項①については、全委員の賛成により承認された。
6. 協 議 概 要 以下、協議において出席委員から出された主な意見等です。

<令和10年度入学者選抜について>

- ・中高連携の体制を作るべき
- ・アドミッションポリシーの見直し(舞子高校のように防災科を設置しては?)

- ・ 10 年後の高校 1 年生は 60 万人ほどという数字が予想できる。この数字を踏まえたうえでの学校運営を行う（人口減少に応じた長期的視野をもつ）
- ・ 個人の適正を伸ばし、活かすシステムが必要 → 英検、スポーツの利用
- ・ 人を選べる時代ではなくなっている → 優秀な人以外に高石に来たい子を受け入れる
- ・ 行ける学校から行きたい学校へ、高石高校ならではの生徒募集
- ・ 高石高校に来たいと思わせる特色をつくる
- ・ 教員の負担にならない、かつ、教育が疎かにならない教育システムが必要
- ・ 子ども食堂などのボランティアを通じて交流を深め、教員などになりたい人の育成
- ・ 生徒指導提要改訂をともなって、指導から支援へ
- ・ 学校のハードの維持・計画はあるのか。また誰がリーダーとなるのか → 府教育委員会が主導